

第2回 「グリーン・ツーリズムに関する情報発信について」

1 調査目的

デジタル社会における効果的な情報発信に関して、県民の情報収集等の傾向を把握することで、農村地域におけるさらなる交流人口の創出・拡大を図り、農村誘客を加速化させるための新たなPR方法について検討するため、県民の意識や実態について調査を行う。

(担当課:農政部農村振興課)

2 調査概要

(1) 調査対象者

502 名 (とちぎネットアンケート協力者)

(2) 調査期間

令和3(2021)年5月14日 ~ 5月27日

(3) 調査方法

電子メールにより周知・回答依頼。電子申請により回答。

3 回答者属性

回答数 277 名 (回答率55.2%)

(1) 男女別内訳

性別	回答者数	構成比
男性	142	51.3%
女性	135	48.7%
計	277	

(2) 年代別内訳

年代	回答者数	構成比
10代	1	0.4%
20代	6	2.2%
30代	35	12.6%
40代	75	27.1%
50代	60	21.7%
60代	53	19.1%
70代以上	47	17.0%
計	277	

(3) 地域別内訳

地域	回答者数	構成比
県央	137	49.5%
県南	62	22.4%
県北	78	28.2%
計	277	

(注)

(1) 調査結果に使われる「n」は、各設問に対する回答者数です。

(2) 割合を百分率(%)で表示する場合は、小数点第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示。四捨五入の結果、合計が100%にならないことがあります。

(3) 図表中の語句は、表記を短縮・簡略化している場合があります。

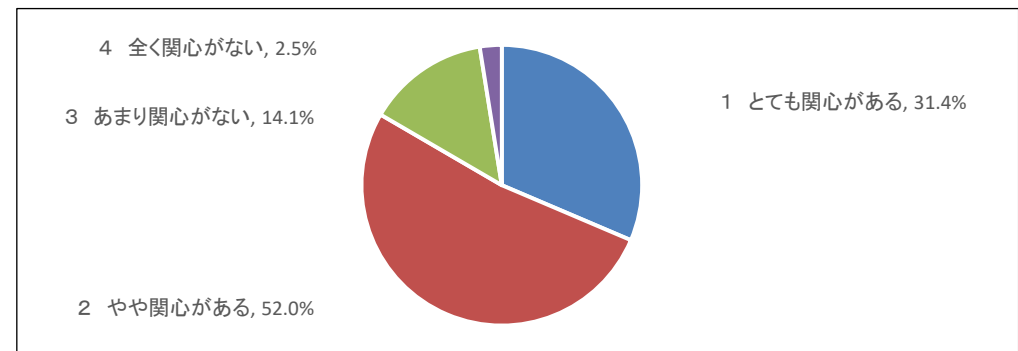
4 調査結果

問1 農村地域でのグリーン・ツーリズム※(以下、GT)について、関心がありますか。

※GT…農山漁村地域で、農産物直売所での購買や農村レストランでの地産地消、農家民宿での宿泊、農作物の収穫などの農業体験等を楽しむこと。

	構成比	回答数
1 とても関心がある	31.4%	87
2 やや関心がある	52.0%	144
3 あまり関心がない	14.1%	39
4 全く関心がない	2.5%	7

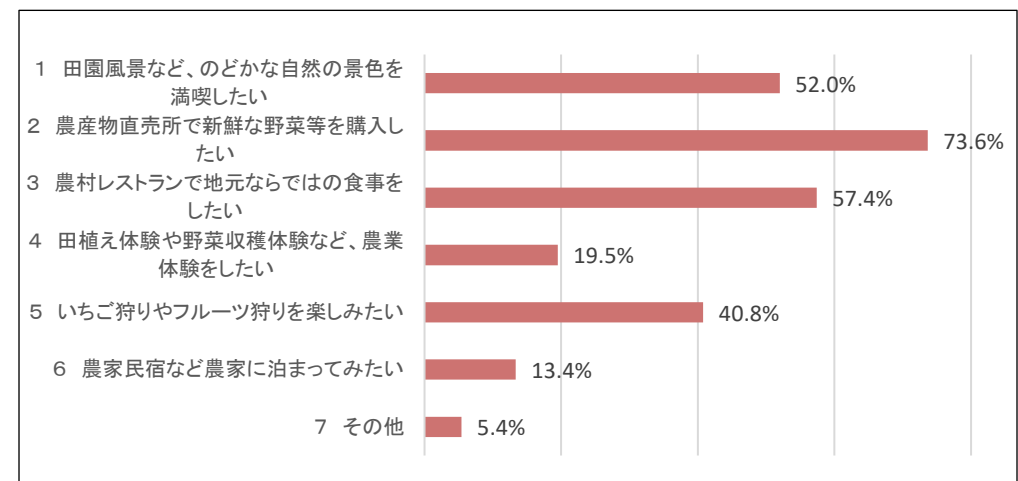
(n = 277)



問2 農村地域を訪れる(訪れたい)動機は何ですか。(観光や仕事等で出かける際に、農村地域に立ち寄る場合も含まれます。)(複数選択可)

	構成比	回答数
1 田園風景など、のどかな自然の景色を満喫したい	52.0%	144
2 農産物直売所で新鮮な野菜等を購入したい	73.6%	204
3 農村レストランで地元ならではの食事をしたい	57.4%	159
4 田植え体験や野菜収穫体験など、農業体験をしたい	19.5%	54
5 いちご狩りやフルーツ狩りを楽しみたい	40.8%	113
6 農家民宿など農家に泊まってみたい	13.4%	37
7 その他	5.4%	15

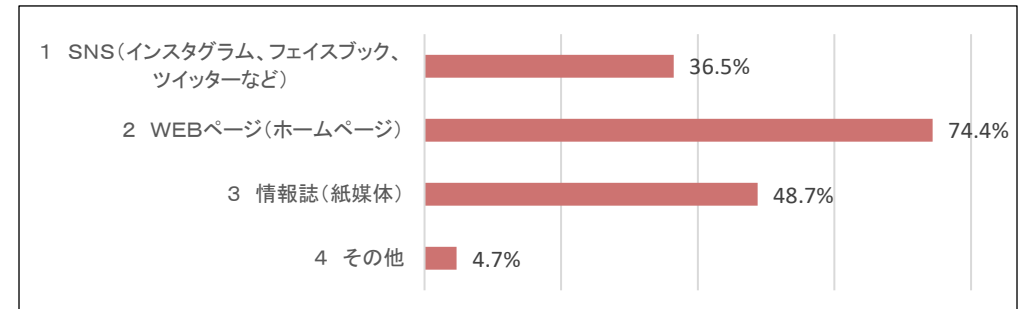
(n = 277)



問3 GTを含めた観光情報を得るため、よく利用する媒体は何ですか。(複数選択可)

	構成比	回答数
1 SNS(Instagram、フェイスブック、ツイッターなど)	36.5%	101
2 WEBページ(ホームページ)	74.4%	206
3 情報誌(紙媒体)	48.7%	135
4 その他	4.7%	13

(n = 277)

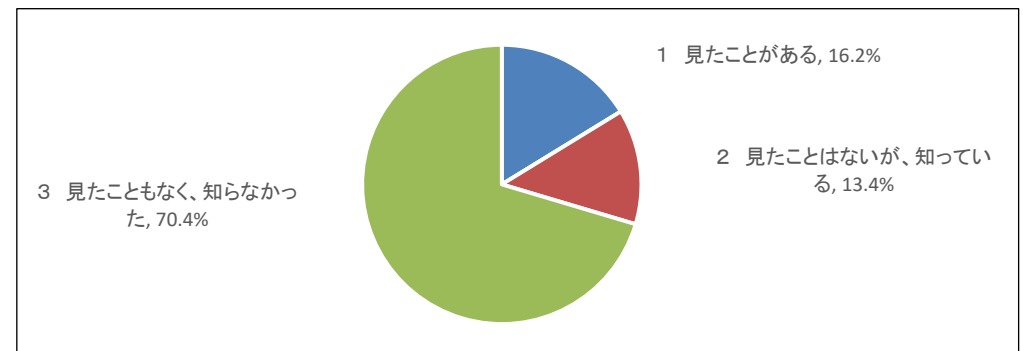


問4 県がGTに関する情報を発信している、県HP「とちぎの農村めぐり」を御覧になったことはありますか。

県HP「とちぎの農村めぐり」URL: <https://www.agrinet.pref.tochigi.lg.jp/tochigi-nouson-meguri/>

	構成比	回答数
1 見たことがある	16.2%	45
2 見たことはないが、知っている	13.4%	37
3 見たこともなく、知らなかった	70.4%	195

(n = 277)



問5 県HP「とちぎの農村めぐり」には選択肢にあるコンテンツを提供していますが、利用しやすい(したい)と思うコンテンツは何ですか。(複数選択可)

	構成比	回答数
1 とちぎの農村めぐりPR動画による情報発信	24.5%	68
2 食べる、買うなどのカテゴリごとの検索機能	53.8%	149
3 季節ごとのおすすめスポットの掲載・検索機能	54.5%	151
4 ブログ形式での情報発信	13.0%	36
5 イベントカレンダー機能	34.7%	96
6 利用したことがない	29.2%	81

(n = 277)

